

## 農業農村整備事業（県事業）審議資料

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1
  
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について  
県営基幹農道整備事業（農山漁村地域整備交付金） . . . p 2
  
- 平成26年度 再評価実施箇所（附図）  
県営基幹農道整備事業【下呂中央地区】 . . . p 3
  
- パワーポイント説明資料  
県営基幹農道整備事業【下呂中央地区】 . . . p 4～p 11



平成26年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 農地整備課

○事業制度について	事業名	県営基幹農道整備事業（農山漁村地域整備交付金）
	事業目的	・ 農業生産の近代化や農業生産物の流通の合理化を図るため、重要かつ農村環境の改善に資する農道網の基幹となる農道の整備
	採択基準	・ 受益面積がおおむね50ha（振興山村、過疎地域は30ha）以上であること ・ 総事業費が1億円以上であること ・ 車道幅員がおおむね4m（振興山村は3m）以上であること ・ 自動車交通量のうち、農業に係るものが過半を占めるものであること
	概要（メニュー）	農道の新設又は改良
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫
		その他項目
	費用の算定 ≪C≫	⑧ 総事業費 = ⑨+⑩
		⑨ 当該事業による費用 ⑩ その他関連事業費
費用便益の基準	費用便益比 (B/C) ≥ 1.0 投資効率 = 妥当投資額 (⑦) ÷ 総事業費 (⑧)	

※ H20以降に計画策定（新規、変更）した地区については、「新たな効果算定マニュアル」により総費用総便益比（評価期間（当該事業期間+40年）の間で必要な投下費用（総費用）とそれによって発現する総便益を対比）にて算定。

# 平成26年度 再評価実施箇所 (附図)

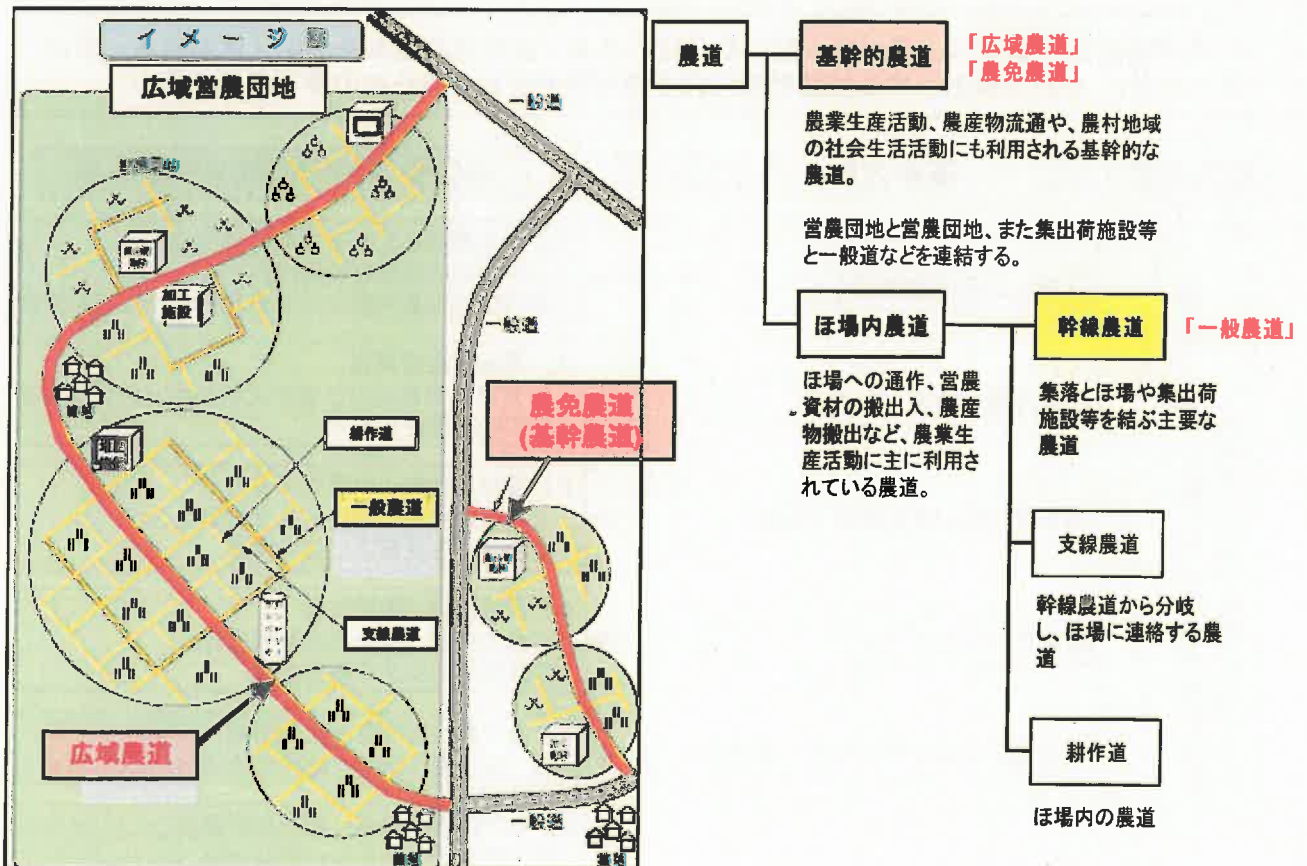
担当課 [農地整備課]

番号	1	事業名 (路線・河川名)	県営基幹農道整備事業 (下呂中央地区)
事業実施箇所	下呂市乗政～御厩野		事業主体 岐阜県
採択年度	平成6年度	完了予定年度	平成32年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間に経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>農村集落を農道で結び、営農流通体系を改善することにより、農業・畜産の振興を図るとともに、農村地域の生活環境を改善し、活力ある農山村地域づくりに資する。 また、国道41号及び国道257号の代替路線として、災害時には重要な役割を担う。</p>		
事業概要	<p>事業延長 L=4,737m                  道路工 L=4,576m (全幅7.0m)                  橋梁工 L=161m (5箇所)</p>		
概略図			

# 県営基幹道整備事業「下呂中央地区」 公共事業再評価



## ○農道整備事業のイメージ図



# ○農道の役割

## ①農業生産や流通の合理化による農業振興

- 輸送距離の短縮による走行経費の節減
- アクセス改善による農産物流通の合理化
- 大型農業機械の導入による生産性の向上

## ②農村地域の生活環境の改善

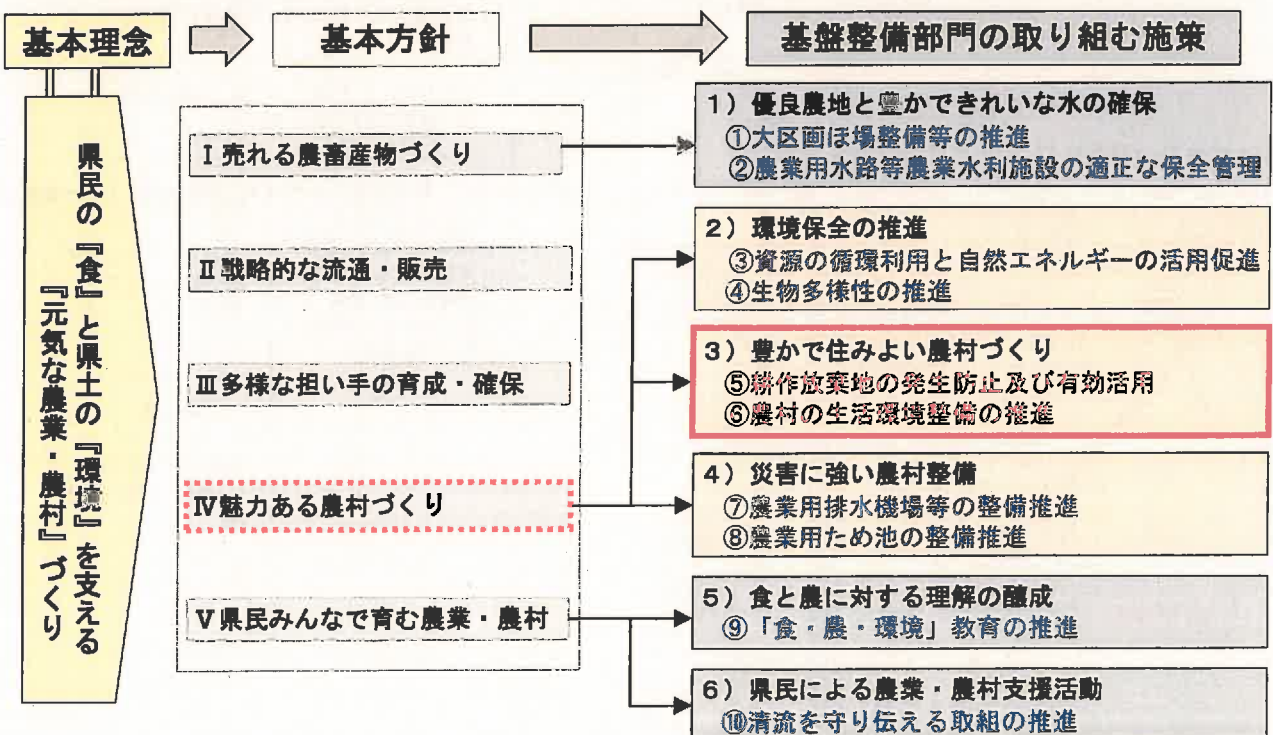
- 利便性の向上
- 安全・円滑な交通の確保

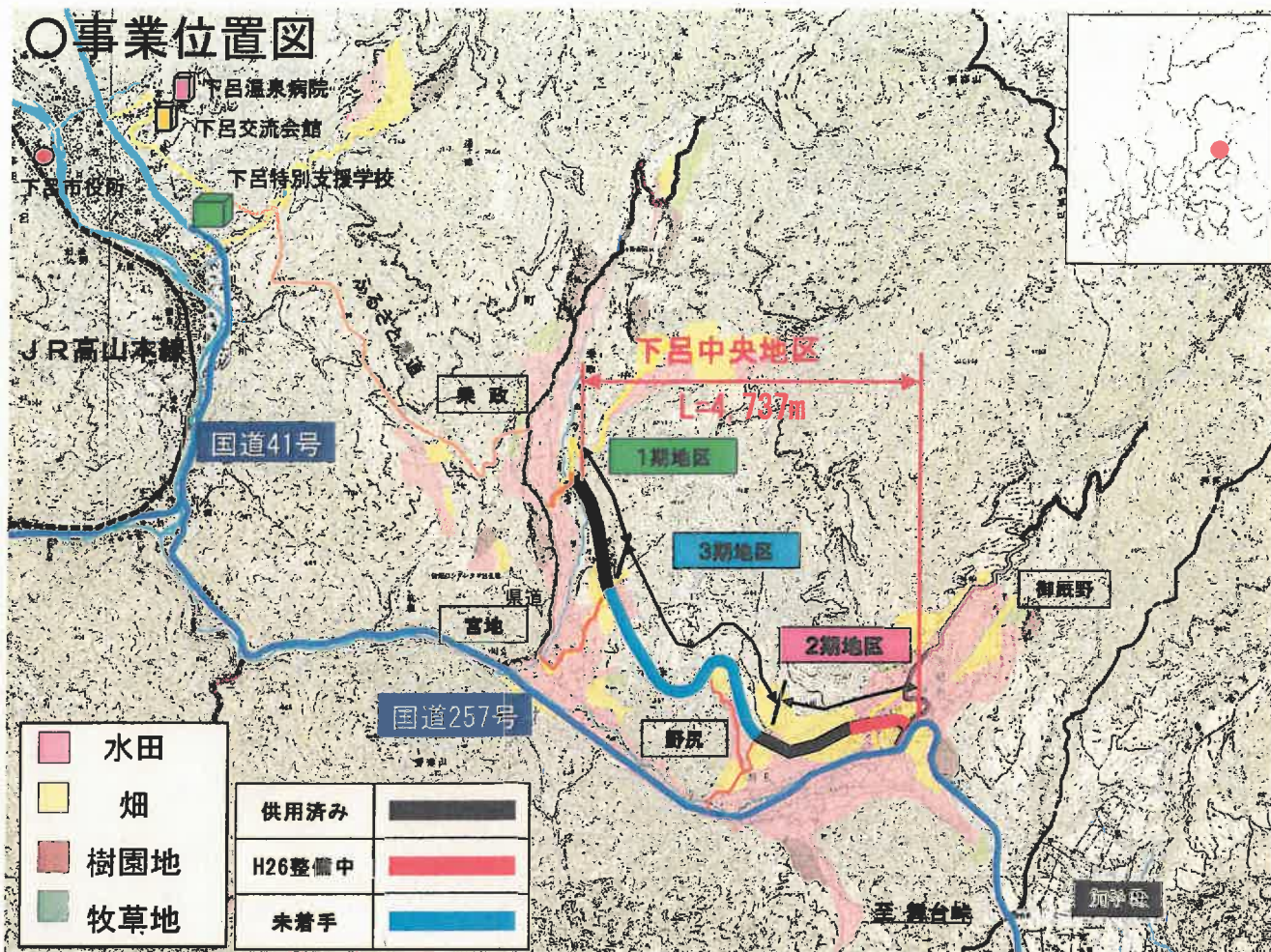
## ③防災機能の充実

- 災害時の避難路や緊急輸送路の確保

# ○県の政策との位置け

農業農村整備事業は、県が重点的に取り組む農業・農村振興施策を示す「ぎふ農業・農村基本計画」(H23.3策定)の基盤整備部門の各種施策を実現するための事業展開を図る。



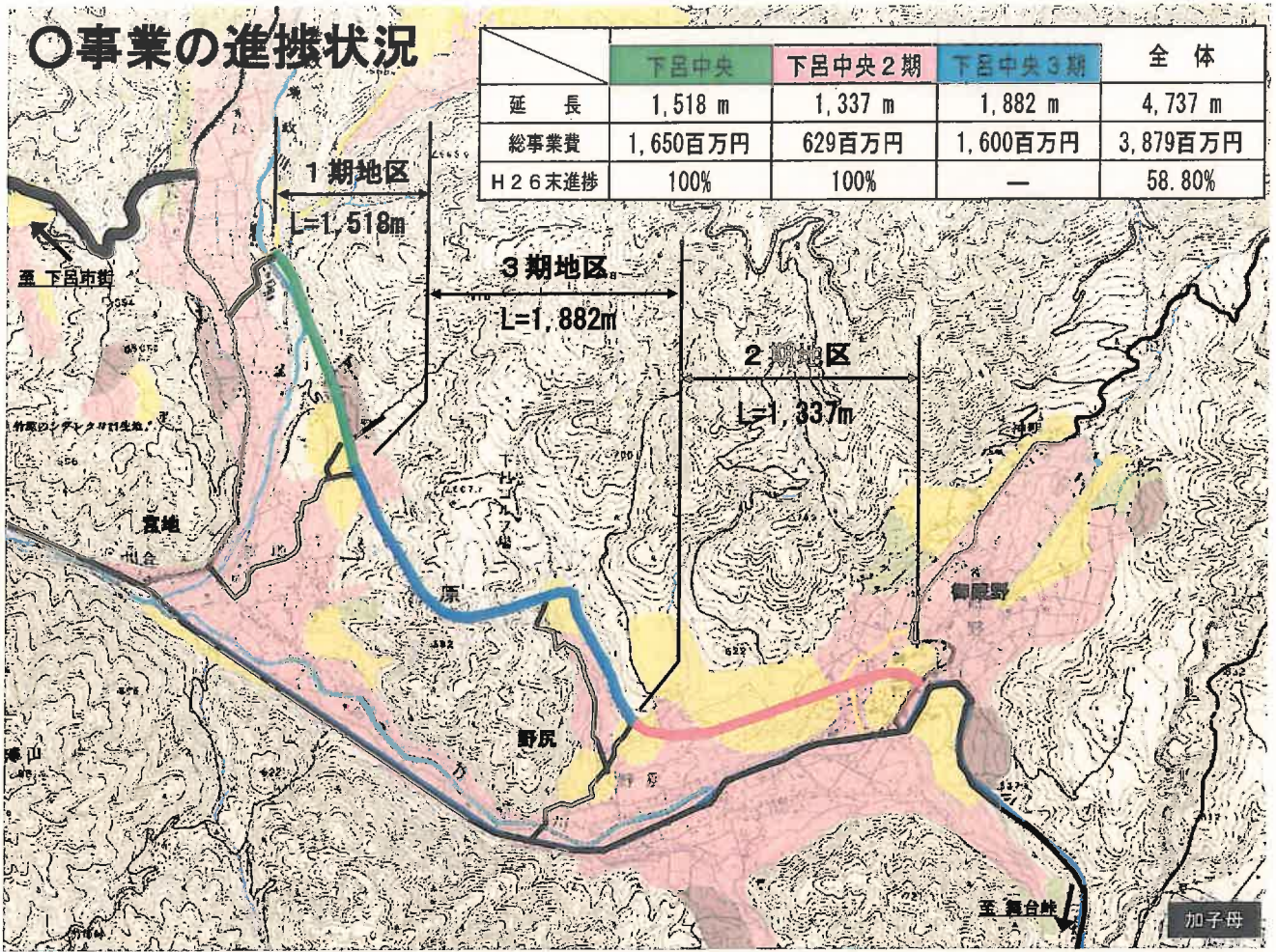


### ○事業概要（下呂中央地区全体）

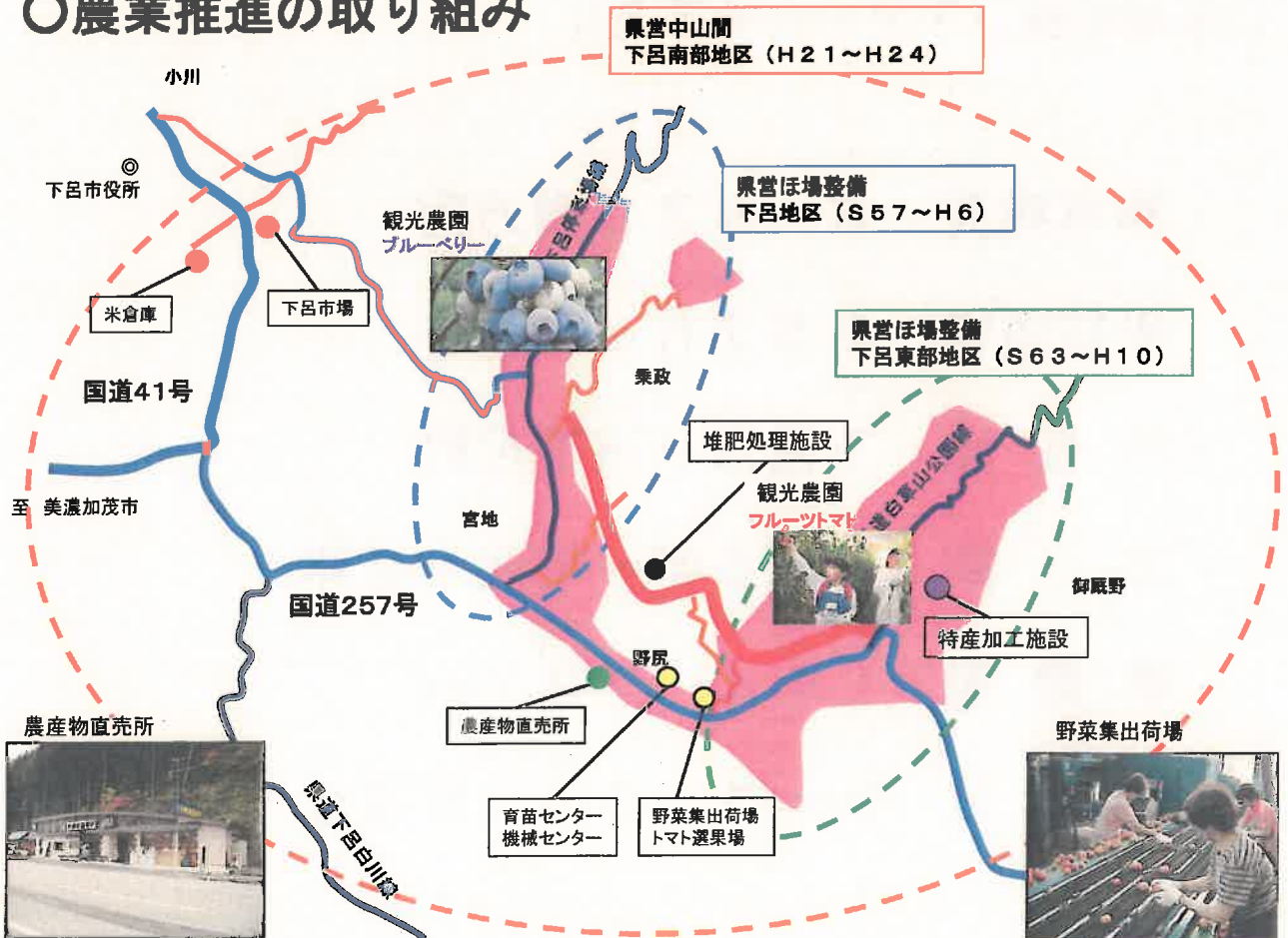
- ・ 総事業費 3,879百万円
- ・ 受益面積 357ha
- ・ 所在地 下呂市（旧下呂町）
- ・ 工期 平成6年～平成32年
- ・ 事業量 L=4,737m
- ・ 幅員 W=7.0m（車道5.5m）

# ○事業の進捗状況

	下呂中央	下呂中央2期	下呂中央3期	全体
延長	1,518 m	1,337 m	1,882 m	4,737 m
総事業費	1,650百万円	629百万円	1,600百万円	3,879百万円
H26末進捗	100%	100%	—	58.80%



# ○農業推進の取り組み





# ○事業の目的【堆肥の活用】



# ○事業の目的【災害時の避難路・輸送路の確保】



# ○費用対効果の分析

## ■事業の効果

### ★食の安定供給の確保に関する効果

- ・ 営農に係る走行経費節減効果等 効果全体の68%

### ★農村の振興に関する効果

- ・ 一般交通等経費節減効果 効果全体の32%

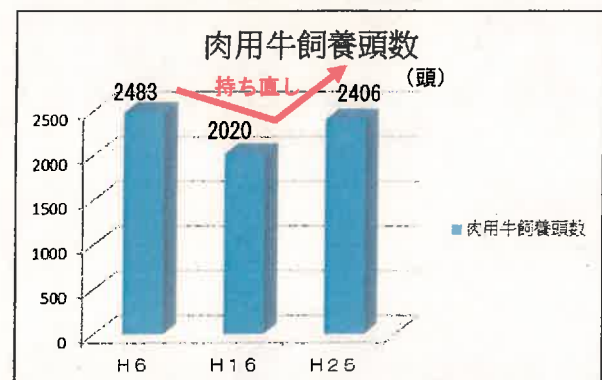
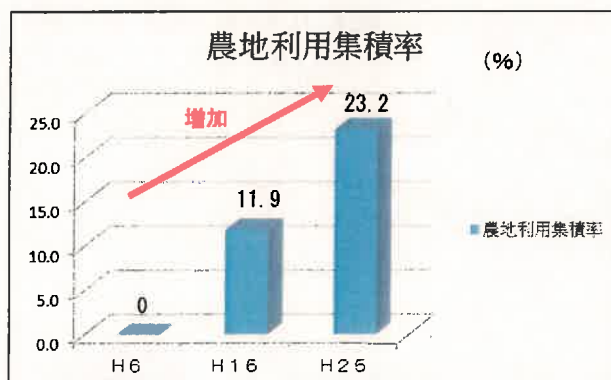
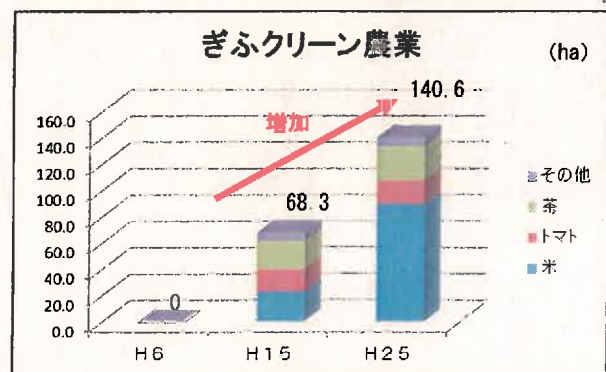
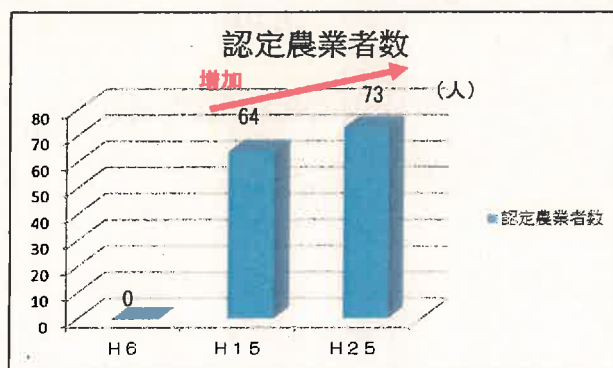
## ■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.2$$

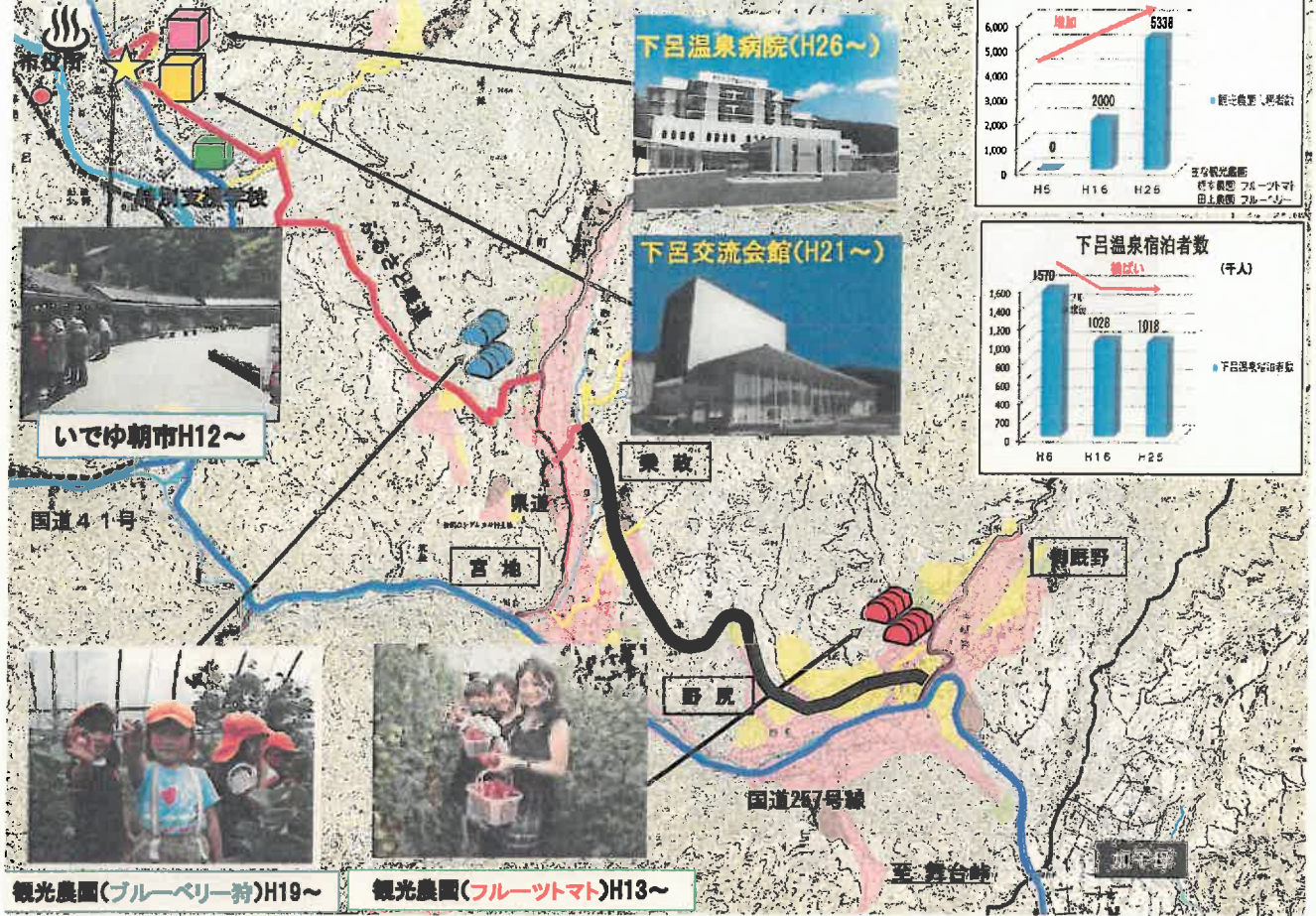
前回再評価時(H21年)のB/C  
1.2

# ○事業を巡る社会経済情勢等の変化(1)

<下呂市全体>



# ○事業を巡る社会経済情勢等の変化（2）



# ○住民協働の取り組み



## ○コスト縮減・環境への配慮



・一部区間で1.5車線化の採用



・現場発生木材を利用した法面保護工



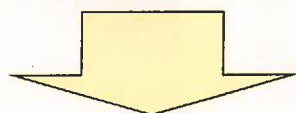
・補強土壁(大型化)採用

・その他  
残土処分地の確保等に伴うコスト削減

**縮減額 約642百万円**

## ○今後の対応方針（案）

- 1 農業輸送の効率化が図られるなど、投資効果が見込まれる。
- 2 地域住民が早期全線開通を熱望。
- 3 残る3期地区の完成により全線開通。  
(平成32年度完成予定)
- 4 災害時の迂回路としての役割。
- 5 観光産業等の振興への貢献



**継続して事業を実施する**